

# 平成19年度事業計画書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

## 1. 研究発表会および学術講演会などの開催（定款第5条1号）

### 1) 本部関係

#### (1) 平成19年度総会

① 平成19年度通常総会を平成19年5月26日（土）に東京で開催する予定。

① 平成19年度臨時総会を平成20年3月15日（土）に東京で開催する予定

#### (2) 平成19年度年次大会研究発表会

平成19年6月20日（水）～22日（金）の3日間、タワーホール船堀（東京）で開催。

#### (3) シンポジウム・交流スペース

平成19年6月20日（水）～22日（金）の3日間、タワーホール船堀（東京）で、第21回感覚と計測に関するシンポジウム、第9回生命工学材料とバイオテクノロジーに関するシンポジウム、第23回膜—その基礎科学と技術—に関するシンポジウム、第21回オプティクスとエレクトロニクス有機材料に関するシンポジウム、および交流スペース（第5回若手交流セッションの拡大）を開催する。

#### (4) 平成19年度（第38回）夏季セミナー

平成19年9月5日（水）～7日（金）の3日間、宮崎市サンホテルフェニックスで開催する。

#### (5) 平成19年度秋季研究発表会

平成19年10月26日（金）～27（土）の2日間、京都工芸繊維大学で開催。

#### (6) 講演会、討論会

講演会（基礎講座、応用講座、「最新の繊維技術レビュー」東京と関西）、討論会、見学会などを随時開催する。

### 2) 支部関係

東北・北海道、関東、東海、北陸、関西および西部の各支部において、それぞれ講演会、セミナーおよび見学会を例年通り開催する。

## 2. 学会誌および学術図書の刊行（定款第5条第2号）

学会誌「繊維学会誌」を下記のとおり発行する。

発行年月日	巻 号	発行部数
平成19年 4月10日	第63巻 4号	2, 6 5 0 部
平成19年 5月10日	第63巻 5号	2, 6 5 0 部
平成19年 6月10日	第63巻 6号	2, 6 5 0 部
平成19年 7月10日	第63巻 7号	2, 6 5 0 部
平成19年 8月10日	第63巻 8号	2, 6 5 0 部
平成19年 9月10日	第63巻 9号	2, 6 5 0 部
平成19年10月10日	第63巻 10号	2, 6 5 0 部
平成19年11月10日	第63巻 11号	2, 6 5 0 部
平成19年12月10日	第63巻 12号	2, 6 5 0 部
平成20年 1月10日	第64巻 1号	2, 6 5 0 部
平成20年 2月10日	第64巻 2号	2, 6 5 0 部

## 3. 内外の関連学協会および産業界との連絡および協力（定款第5条3号）

社団法人繊維機械学会、社団法人繊維製品消費科学会、技術士会、日本繊維技術士センター（JTCC）、アジア繊維関連学協会連合（FAPTA）、アジア繊維学会（SOTSEA）、日本化学繊維協会、社団法人日本工学会事務研究委員会、JABEE等の活動に協力予定

## 4. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款第5条4号）

第34回繊維学会賞を下記の通り表彰する。

- ① 功績賞 3名
- ② 学会賞 2名
- ③ 技術賞 5件
- ④ 論文賞 2名
- ⑤ 繊維科学・技術研究助成金の贈呈 2名
- ⑥ 若手研究者海外渡航助成金の贈呈 2名

## 5. 研究および調査（定款第5条5号）

下記研究委員会に関する活動を引き続き行う。

- (1) 繊維基礎科学研究委員会（委員長：長谷川博一）  
繊維に関する高分子科学の基礎的な研究成果について公開講演会を2回以上、シンポジウムを1回（公開）開催する。講演は来日外国人学者または邦人でも各分野の第一人者に依頼する。
- (2) 染色研究委員会（委員長：正泉寺秀人）  
染色および染料・色素に関連した諸現象の解明と繊維・高分子の染色加工に関する基礎と応用研究の活性化を行う。公開の第47回染色化学討論会（平成19年10月、平成19年度秋季研究発表会（京工織大）開催中に実施）と非公開の研究委員会を2回開催する。
- (3) 繊維加工研究委員会（委員長：坂本宗仙）  
繊維加工分野の研究分野の研究情報交換を通じ、その発展に努める。研究委員会を関東・関西両地区で数回（非公開）およびシンポジウムを関東地区で1回（公開）、関西地区でシンポジウムを1回（公開）開催する。
- (4) 感覚と計測研究委員会（委員長：西松豊典）  
衣服に関連する感覚特性を中心に、生理的・心理的な問題および計測技術などについて討論し、快適性を追求する。研究委員会を2回およびシンポジウムを1回（公開）開催する。
- (5) 被服科学研究委員会（委員長：城島栄一郎）  
繊維・被服研究者および開発者相互の研究交流をはかり、被服科学の研究・応用展開を推進する。研究委員会として、講演会、見学会を年4回行なう。
- (6) 紙パルプ研究委員会（委員長：磯貝 明）  
紙パルプ産業における研究開発に関連した技術的諸問題を関連先端技術と共に専門家を交えて検討する。研究委員会を5回（公開）およびシンポジウムを1回（公開）開催する。
- (7) オプティクスとエレクトロニクス有機材料研究委員会（委員長：小池康博）

オプトエレクトロニクスに関する公開のシンポジウムを開催する。また、海外の第一線で活躍している研究者等を招き、研究会を2回程度開催の予定である。

- (8) 先端繊維素材研究委員会（委員長：上田充夫）  
先端繊維素材およびそれらの開発・製造・利用などに関わる環境などに関して調査検討を行い、最新のトピックスを中心に、講演会（公開）を1回とミニシンポジウム（非公開）を2回開催する。
- (9) ジオテキスタイル研究委員会（委員長：角田知巳）  
土木・建築用途の繊維・高分子材料について、環境問題への適応ならびに高機能性用途開発への共同研究と評価法標準化を推進し、会員増強を図る。研究委員会（非公開研究会、委員会）を6回、シンポジウムを1回（公開）、見学会を1回（公開）開催する。
- (10) 感性研究フォーラム（委員長：梶原莞爾）  
現代社会における感性、ならびに、食や化粧と感性のかかわりに注目し、21世紀の繊維産業に必要な感性について考察を進める。研究委員会（公開の講演会）を2回開催する。
- (11) 超臨界流体研究委員会（委員長：堀 照夫）  
公開の講演会2回、非公開の研究委員会を2回開催する。
- (12) ナノファイバー技術戦略研究会（委員長：斎藤 拓）  
ナノファイバーに関連するわが国の優れた技術開発をさらに促進するため、製造から利用に至るまでの技術的確立と背景となる科学的研究に対して強力なバックアップを行う。最新のトピックスを中心に公開の講演会を2回、非公開の研究委員会を2回開催する。

6. その他目的を達成するために必要な事業（定款5条6号）

特に予定なし

7. その他下記の会議を実施する予定である。

- 1) 評議員会 1回開催
- 2) 理事会 6回以上開催
- 3) 委員会
  - (1) 運営委員会 6回以上開催
  - (2) 企画委員会 2回以上開催
  - (3) 財務委員会 2回以上開催
  - (4) 編集委員会 「報文」編集委員会は随時、ならびに「繊維と工業」編集委員会6回以上開催。
  - (5) 会員増強委員会 会員数増強および広報活動のため委員会を随時開催。
  - (6) 繊維戦略会議委員会 随時開催
  - (7) 研究所長会議 2回開催
  - (8) その他委員会 本部事業の準備に関連する各種委員会を随時開催。

8. 会員数確保のための抜本的対策

会員増強委員会および各支部を中心として役員全員が、従来の視点にとらわれずに繊維関連分野の学際・業際域を拡大して広く会員入会をより一層勧誘する策に取り組む。